

よむぎぶじこ引き出すかが大事です

水 飲むな。うさぎ跳びをやれ。ビンタだ……。

これ虐待でも、パワハラでもありません。ある一定以上の年齢のおっちゃん——いやおばちゃんもそうでしたかなあ——が学生や生徒のとき、運動する際、指導されたことです。

水飲むな、なんて今、思うとひどい話やね。炎天下で水飲むなんて、よう熱中症にならなかったと思います。

もつとも、昔は気温が三〇度超えると暑いと感じたけど、今や三〇度くらいは、むしろしのぎやすく感じるから、いかに気温が上がってるか……。

どちらにしろ、水をがまんしろ、なんて生水の悪い国ならともかく、水道の水の飲める日本では、どうしてそういうことになったんですかなあ。

うさぎ跳びもそうです。今や下半身を鍛えるより、むしろ、痛めてしまうのが定説になり、やらなくなりました。

でも、これ運動というより、体罰で使われたような気もします。「負けた方は、うさぎ跳びで校庭一周!」とかね。

体罰といえば、ビンタがまさにそのものです。授業サボったりして見つかったら、ビンタが飛んできた。あっ!。ビンタわかりますね。平手打ちのことです。何でも元は鹿児島弁で頭を指す言葉だそうです。明治維新のころ広まったんですかなあ。

さすがに今ビンタは、学校では暴力ということで、先生もやらないと思いますが、あれ、自分が悪うてビンタされても、その痛さだけが残って、恨みになる子どもが多かったと違いますかなあ。

みんなの前で叱ることもそうです。さらし者になり、屈辱を味わい、注意されたことより、恨みがのこります。

大阪発のコメディ番組に「スチャラカ社員」というのがありました

とにかく昔、言うても戦争終わったところから高度成長のころですが、指導する者は学ぶ者に、文句を言わず、ただ、技や学業を叩き込んでやらせる、という方式が主だったような気がします。

それが、個人を会社や団体へ強く従わせて、結果として均質で良質なメイド・イン・ジャパンを作りだしていった……。

みんな豊さという同じ目的に向かって、一斉に努力していた時代です。

サラリーマンは企業戦士、モーレッツ社員なんて言われてました。まあバブルが崩壊したら、大きな組織でも、守ってくれないことが多くなり、こうした意識が変わったように見えます。



●(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦

(あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

余談やけど、一九六〇年代に大阪発のコメディ番組で「スチャラカ社員」というのがありました。

高度成長の頃、無気力な物産会社が舞台のテレビでしたけど、中田ダイマル、ラケットという人気漫才コンビを主役にして、笑いを誘っていました。富司純子さんが一般に知られるようになったのも、この番組です。まだ「緋牡丹のお童」でもなく、歌舞伎役者の奥さんでもなかった初々しい女優さんでした。

そう思うと大阪は、「スチャラカ社員」に見るように、集団主義的なものに、醒めた目をもってる気がします。

「ガンバロー」とみんなて手を振り上げているのを観て、一言「アホクサ」と言うのも、大阪の妙味かもしれせん。

体罰やモーレツもだめならどないしたらいいんでしょうか

さて、体罰がだめで、集団的なモーレツもだめなら、どないしたらいいんでしょうか。

僕は、女子テニス、世界ランキング一位になった大坂なおみさんのコーチのやり方に注目します。

なおみさんが試合中に精神的に不安定になると、コーチは、決して怒鳴らず、切々と説いて力を引き出したそうです。

この方法は、なおみさんのコーチだけではありません。強豪イタリアのバレーボールの監督やコーチは、選手を指示に従わせるのではなく、それぞれのよさを引き出すことが大事、と言っていました。

また、日本女子バレーの監督になった中田久美さんも、選手

に「なぜそう言ったのか」、「問題は何か」など

常に問いかけて、選手が自分で考えるようにさせるそうです。

もう言われたことを、言われた

とおりにするのは過去のことで

すなあ。それぞれのよさをどう引き出すか……。

「僕もそうです」

満を持したように、東京のおっちゃんじゃべり出しました。「僕も酒を控えるため、カレンダーに飲んだ日は×つけてたんですが、なんや暗うなりました。それで発想の転換で、禁酒した日に○をつけるようになりました。そうすると、○が増えるのがうれしく、禁酒の日が増えてきました。ほめて育てるのが大切ですなあ」

「アホか。勝手にいいな！」

おっと、こんなときも怒らんと「君よくやったねえ」とほめないとかあんなのですかなあ。

トホホ。

Photo